



コロナウイルス対策で、在宅勤務やテレワークとされていますが、「在宅勤務」と「テレワーク」は同じ意味でしょうか？



企業による「在宅勤務」や「テレワーク」の導入が進んでいるという話題はよく耳にすることと思いますが、同じような意味で使われがちなこれら2つの言葉には、どのような違いがあるのでしょうか。ほかにも、「モバイルワーク」や「リモートワーク」など、ICTを活用した柔軟な勤務形態を指すものとして、様々な言葉が飛び交っています。ここでは、これらの言葉の概念を整理してみたいと思います。

在宅勤務とは、テレワークの1つの形態であり、テレワークは在宅勤務よりも広い概念です。

テレワークの種類



テレワークとは「tele=離れた所」と「work=働く」をあわせた造語で、ICTを活用した時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を意味します。

テレワークには大きく3種類あります。

- ① 従業員の自宅で仕事を行う「在宅勤務」、
- ② 取引先のオフィスや移動途中の駅、カフェなどで仕事を行う「モバイルワーク」、
- ③ そして専門の事業者が提供するサテライトオフィスやコワーキングスペース、自社で整備した専用施設などで仕事を行う「サードプレイスオフィス勤務」が含まれます。

(一般社団法人日本テレワーク協会より)